

科目名	経済学と現代経済	科目分類	■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ)
			経済学科 □必修 ■選択
			学科 □必修 □選択
英文表記	Economics and Modern Economy	開講年次	□1年 □2年 ■3年 □4年
ふりがな	いしかわ たけいち ほか けいざいがくぶきょういん	開講期間	■前期 □後期 □通年 □集中
担当者名	石川 竹一 他 経済学部教員	修得単位	2単位
授業のテーマ	<p>本科目のテーマは、複雑で多様化する現代経済の諸現象を、これまでに授業で学んできた経済学の基本的で本質的な考え方や見方に沿って、理解し、説明できるようにすることである。</p> <p>私達の生産活動と消費行動は、激変する情報化や国際化、自然環境の中で営まれており、もはや「経済原論」という狭い意味での経済学では、現実社会の中で巻き起こる諸問題に向き合うことは難しくなっている。そうした変化に対応すべく、本学経済学部のカリキュラムも絶えず再考されており、伝統的な経済学の諸分野に加え、情報、国際、環境などの新たな分野が拡充されてきた。本科目を通じて、ノースアジア大学経済学部の目指す「現実への応用可能性の高い経済学」を再認識し、経済学士として相応しい、経済学力を備えて欲しい。</p>		
到達目標	広範に及ぶ経済学諸分野の基本的で、本質的な考え方や見方に沿って、現実の問題を理解し、説明できるようになること。		
授業概要	本科目では、「経済学の現実への応用可能性の高さ」を意識することから、経済学諸分野の基本的で、本質的な見方を確認し、それを基に、現実社会の中で起きている問題について考えることとする。		
授業計画			
第1回	テーマ： ノースアジア大学の経済学教育 ―市場メカニズムとその限界― (楠山)		
第2回	テーマ： 経済原論 (ミクロ・マクロ経済学) の基本 ―市場競争と国民所得― (畠山)		
第3回	テーマ： 政府の経済活動 ―財政赤字と税制の変容― (楠山)		
第4回	テーマ： 国民生活と社会保障 ―少子高齢化と国民負担の世代間格差― (藤本)		
第5回	テーマ： 情報と倫理 ―高度情報化と情報リテラシー― (西巻)		
第6回	テーマ： 多様化する資本主義 ―欧州型、英米型、地中海型などの新しい5つの見方― (畠山)		
第7回	テーマ： 国際経済と貿易・投資 ―保護主義と自由主義の対立― (坂元)		
第8回	テーマ： 国際協力とその成果 ―貧困の解消と援助の在り方― (坂元)		
第9回	テーマ： 国際政治と国際秩序 ―軍事競争から経済協調へ― (石川)		
第10回	テーマ： 伝統文化と異文化理解 ―国際化と人間協働の方策― (西巻)		
第11回	テーマ： 組織経営の本質と国際化 ―貢献意欲、共通目的、伝達体系― (李)		
第12回	テーマ： 売れる仕組み作りと会計報告 ―顧客視点と企業の説明責任― (國井)		
第13回	テーマ： 情報社会における新しい人づくり ―教育と情報の融合― (市原)		
第14回	テーマ： 激変する自然環境への対応 ―地球温暖化と生物多様性― (村中)		
第15回	テーマ： 教育システムと国家の基盤形成 ―学び続ける意欲と技術革新― (市原)		
第16回	定期試験		
授業時間外の学習	新聞記事を、授業で学んだことと関連付けて読み、社会の中での経済学的な考え方や見方に親しんでおくこと。特に、日本経済新聞の一面記事を熟読して欲しい。		
履修条件 受講のルール	経済原論 (ミクロ・マクロ経済学) や情報系科目、国際関係科目、環境系科目を履修済みか、同時履修して欲しい。		
テキスト	分野が広範に及ぶため、必要に応じてレジュメを配布する。		
参考文献・資料	各回の授業にて、適宜、説明を加える。		
成績評価の方法	試験の結果を基に評価する。		
オフィスアワー	オムニバス形式なので、各担当教員に個別に確認して欲しい。		

成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
学生へのメッセージ	ノースアジア大学で学んだ経済学を使いこなし、頼りがいのある自分に成長して下さい。最後に、頼れるのは自分自身です。